

NPO論楽

NPOをさまざまな切り口から楽しんでやろうと目論んだこのコーナーもややネタ切れで、苦し紛れに料理の世界(小生の専門領域)にNPOを持ち込むという暴挙に出ることとなった。

しかし、美味しいものというのは、人間の「欲望」と一体をなしているらしく、考えれば考えるほど、ノンプロフィットな領域からどんどん遊離して、グルメで、セレブでゴージャスで、という世界に誘われていくようです…と、ここまで原稿を書いて、ひとまず夜食のおにぎりを頬張る…おっと、まてよ…おにぎり!なんと素晴らしくNPO的ニュアンスを含んだ食べ物ではありませんか。まずはここら辺から始めますか。

おにぎり



火事などの災害があったとき、ご近所の炊き出しのおにぎりが本当に有り難い。まさに、米粒一つ一つにノンプロフィットの心が詰まっているような。しかし、かつて火災にあった経験から一言。実は炊き出しのおにぎりで食中毒になりました。家族の半数のものが、火災にあったその日から三日三晩下痢と嘔吐に苦しみ、大変でした。まさに踏んだり蹴ったり状態です。自家用の場合はともかく、炊き出しなどの場合には、手をよく洗い、ラップや調理用の手袋を用いることをお勧めします。手に切り傷などがあるときは絶対に調理は避けるべきです。衛生管理、NPOクッキングの第一条です。

カレーライス



ヒ素入りカレー事件以来、随分イメージが傷ついたカレーライス君ですが、キャンプや合宿、子ども会などNPO的場面では根強い人気メニューです。人気の秘密は嫌いな人が少ない、失敗が少ない、コストが少ない(割には満足度が高い)という「3少」にあると思われま。失敗が少ないというものの、時にどうにもならない例にでくわすこともあります。「おんちゃんのカレーはウメンだ」などと言って、普段料理なんかしたことのない人が鍋奉行となった場合に多発します。多くは、調味料や懲りすぎて奇妙なものを多く入れすぎて起こります。大量に作る場合が多いので、適量がつかめず、どっと鍋に投入してしまうことが原因です。

NPOクッキング第二条は「調味料は控えめに」。味を見ながら少しずつ投入することが肝要です。

とん汁…これまたアウトドア的NPOシーンにはよく登場する献立。ちなみに、九州地方では「ぶた汁」と称することが多いとか。「とん汁」などという『ぶたのくせに気取りやがって!』と思われるらしいから、とん汁君もなかなか世渡りが難しい。だしと味噌との兼ね合いで大方の勝負は決する訳ですが、ちょっとした裏技も。出来上がりにごま油をひとたらし。俄然味にコクが出ます。ただし、くれぐれも第二条をお忘れなく。



汁物

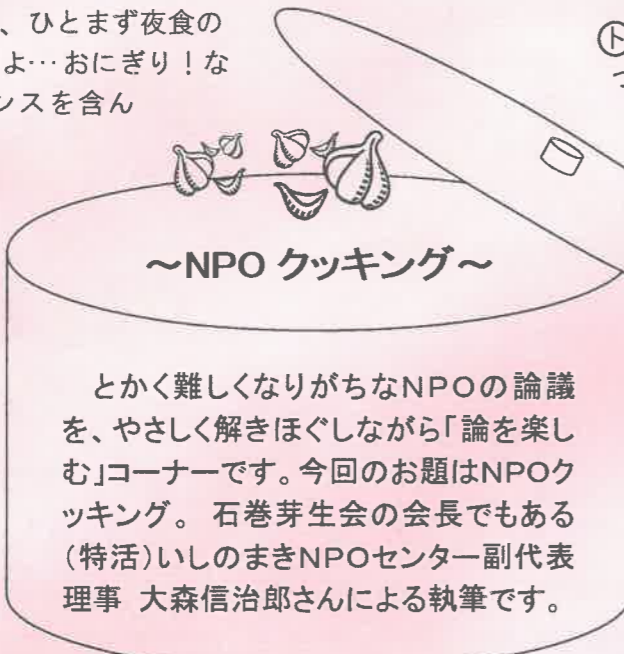
ついでながら、汁物レシピにひと工夫の事例紹介を。秋の汁物と言えば、当地方では秋刀魚のすり身汁。

秋刀魚すり身汁に、湯剥きトマトの半月切りを二枚ほど浮かべ、黒こしょうをさっと振り、オリーブオイルを数滴垂らすと、何とあつという間にイタリアン。

お好みで粉チーズを少し振ればオリジナルとは全く別の地中海な食べ物になっちゃいます。数年前、宮城県とローマ県の姉妹県調印式でこの献立をご披露したところ、結構なウケを頂戴し、両県知事より「ローマ汁」なるあまりおしゃべりな名前をつけて頂きました。ありがとうございました。というわけで、第三条は「定番献立+ひと工夫=『へえー』」です。この『へえー』が、NPO的和気あいあいの食の団樂を楽しく演出してくれるでしょう。

しかし、ひと工夫をあまり主張しないように。スタンダードがもっとも好まれることをお忘れなく。それに、自分のひと工夫を共同作業の場で主張しすぎますと、たいていは嫌われます。結果、険悪なムードが漂う逆効果も。この種の料理はあくまでもNPOのミッション達成のための手段であり、会話や交流のための媒体(メディア)です。これが第四条です。

何だか第十条くらいまで行けそうな気がしてきましたが、ここらでごちそう様ということにいたします。お粗末さまでした。



いしのまきNPOセンター 人々が北上川の流れに乗って新しい時代の始まりを予感し、協力し合いながら前進しようとする姿を小さな芽に見立てています。	育む 集う 結ぶ	発行 特定非営利活動法人 いしのまきNPOセンター 連絡先 〒986-0832 宮城県石巻市泉町3丁目1-63 TEL/FAX 0225-23-0851 Eメール npo@i-port.ne.jp HPアドレス www.i-port.ne.jp/npo/	2005年 春 第9号
	むうぶ		

アイディー ITとNPO いしのまきNPOセンター 理事 清野 恭弘

～ITってなにっしや?というあなたへ～

『IT』みなさんはこの用語に対してどんな感情をお持ちですか?実は私、あまり得意分野とは言いがたい。それもITとNPOだなんて。なので、専門的なことは抜きにしてあえて私の視線から考えることをつづいていこうと思います。



私たちは今日ITとは切っても切れない環境下で暮らしています。パソコンはお持ちでなくても携帯電話はお持ちの方がほとんどなのでは?しかもインターネットになげられる携帯電話を。総務省の情報通信白書平成16年度版によりますと、平成16年3月現在で日本の携帯電話の契約数は8,152万件で、前年よりおよそ586万件増えています。注目すべきはそのうち携帯インターネット契約数が6,973万件だそうです。携帯電話を持っている人の85.5%が携帯メールやi-mode(注1)などのインターネットを利用していることとなります。さらに全体のインターネット利用人口がおおよそ7,730万人だと言うんですから、これを使わない手はありませんね。苦学意識を持っていた方々、年齢なんて関係ありませんよ。住んでいるところなんて関係なくなりますよ。情熱を注ぎ集めるにも発信するにもコリヤ上手く使わなくては!

パソコンを始めるとき、「何をどこからそろえればいいのか」と知人に聞くと、「何をやりたいかで変わってくるから自分の中でそのへん決めてからだといいよ」なんてことを言う人がいます。でも本音を言うと「何出来っかわかんねがら聞いてんだべっちゃ!!」。その通り!初めは楽しめればいいんです。

無理に『ワープロからはじめよう、次は表計算...』なんて手順は踏まないほうがいいでしょう。私の周りの、特に年輩の方などはこの辺で投げちゃう人が多いようです。それよりまずはメールしましょうよ。例えば団体



イメージ画像
いつでもどこからでもインターネットにひとつ飛び!

用語解説コーナー
※注1 i-mode (アイモード)
NTTドコモグループが同社の携帯電話網を使って提供しているインターネット接続サービス。
※注2 ユビキタス社会
あらゆる情報端末、物品が、有線/無線の多様なネットワークによって接続され、いつでもどこからでもさまざまなサービスが利用できるネットワーク環境が整った社会

むうぶ 育む incubate 集う communicate 結ぶ network 新しい時代の胎動をNPOがつくるという思いを込めて...

いしのまき NPO センター 研修委員会

サロン
んぼん舗 茶ろん 報告

んぼん舗茶ろんは昨年9月に開店。毎月1回決まったテーマで、お茶を飲みながら気軽に話し合うサロンです。これまでに開催した1回から5回までの様子を報告します。

### 第1回 パソコン何でも座談会 9月29日(水) 19:00~21:00 ### 12名参加 ###	
#ゲスト# (NPO法人)パソコンママネット 代表理事 遠藤一恵さん (NPO法人)いしのまきNPOセンター 代表代行 佐々木万亀夫さん	#スタッフ感想# 参加者それぞれの話したいことや聞きたいことの範囲が広く、すべての質問にまんべんなく話し合うことはできなかった。またこのような機会がほしいとの要望もあったが、詳しいテーマ設定や参加者のレベルに合わせた内容が必要と思われた。

** 第2回 知ることからはじめませんか? 国際ボランティア ** ** 10月26日(火) 19:00~21:00 11名参加 **	
ゲスト 石巻専修大学交流室 千葉直美さん (NPO法人)いしのまきNPOセンター 専務理事 木村正樹さん	**スタッフ感想** 高校生や20代にも参加いただいた。体験談や質問で進行、様々な角度から国際交流について話し合われた。参加者からは、またこのような機会がほしいとの要望もあり、次につなげていきたい。



少人数制だからじっくり語れ、じっくり聞けます。

§§ 第3回 簡単情報発信術 身近なメディアの使い方 -11月25日(木) 19:00~21:00 18名参加 §§	
§ゲスト§ 石巻かほく 編集局編集部長 菅野健寿さん 石巻日日新聞社編集局報道部記者 平井美智子さん §コーディネーター§ (NPO法人)いしのまきNPOセンター理事 ラジオ石巻常務取締役放送局長 清野恭弘さん	§スタッフ感想§ 自分達の活動をより多くの人達に知ってもらいたいと思っているNPO団体側と、より多くの情報を入手したいメディア側との充実した話し合いができた。情報提供のコツやオフィスの情報発信サービスの活用法なども紹介され、参加者の今後の活動に活かせる内容だった。

*** 第4回 資金調達達人に聞く! 助成金申請のコツ 12月18日(土) 16:00~18:00 9名参加 ***	
ゲスト (NPO法人)石巻スポーツ振興サポートセンター 理事長 松村善行さん 宮城県石巻地方振興事務所地域振興部 商工振興第一企画員 金井奈央子さん	*スタッフ感想* 補助金を交付する側である地方振興事務所より手続きや留意点の説明やコツ、実際に助成を受けた団体の事例報告を聞いた。助成金情報は支援オフィスの情報提供のなかでも最も期待されている分野の一つであり、その提供方法をよく考え、NPO活動団体に伝えていかなければならないと痛感した。



お茶ありお菓子あり。なごやかな雰囲気で開催されています。

Φ 第5回 水環境について 1月17日(月) 19:00~21:00 11名参加 Φ	
ΦゲストΦ 国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所 調査課長 佐藤伸吾さん (NPO法人)水環境ネット東北 理事 伊藤秀樹さん ΦコーディネーターΦ (NPO法人)いしのまきNPOセンター理事 いしのまき環境ネット代表理事 高橋 寿さん	Φスタッフ感想Φ 広範囲にわたる環境問題の中から「水環境」にテーマを絞って開催した。それでも、「自然はつながっている」という観点から、話題は山の保全など賑やかに展開していった。

シリーズ 人が支えるNPO ⑨

くみちゃんの おじゃましま〜す!!

今回はITを活用したまちづくりを推進する「石巻インターネット放送」さんにお邪魔しました。インタビューの準備をしていると、そこへ事務局長の加藤さんが朗報と共にやってきました。「本日、NPO法人の認証がおりました!!」どうやら、いいタイミングでお邪魔出来たようです。

NPO法人インターネット放送の前身であるインターネット放送研究会は2002年7月、勉強会として発足。勉強だけでは物足りないメンバーが会を重ねるにつれて



理事長の亀山さんと事務局長の加藤さん

増え、1年後にはNPO法人として新たにスタートする事となりました。法人としての核となる事業はインターネットTV放送を中心としたサイトの制作です(ただいま試験放送中。そこはまさにデジタルアートと手作りコンテンツの魅力が満載のビックリ箱)。「国の方針として、物作り・情報づくりをこれからの中心産業としていく事が明示されている。私達の団体はデジタルコンテンツを制作することで物づくりを行い、それを大都市に負けない地域活性化の起爆剤として発信していきたい」と語るのは代表理事の亀山絢石巻専修大学教授。「さまざまな地元の資源を掘り起こし、文化を育てていきたい」。目標はズバリ「石巻における情報発信の核」です。

この団体のユニークな点は何と言っても、理事メンバーに現役の大学生が2人も加入していることです。若さ漲る画期的なアイデアが期待できると共に、彼らの溢れる感性が、これからメディア体験をすることになるであろう市民と一緒に育っていくことが期待されます。

事務局長の加藤俊治さんは、「インターネット放送という媒体を利用して、多くの市民や団体に情報発信を楽しんでもらい、そして仲間を作って欲しい」と語ります。発信するだけ



理事会は活気があります!

お仕事じゃあないところも魅力のひとつ!市民にとってより開けた、親しみ易いメディアのあり方を追求する姿勢に、個人レベルでの情報発信が出来るようになる日もそう遠くないのでは、という期待がふくらみました。

素材を活かした番組作りに燃える石巻インターネット放送のHPアドレスは www.maki-ishi.net/ 正式な開局は4月17日です。現在、一緒に活動したい人を大募集中!



専修大学で昨年開催された科学の祭典に参加。インターネット放送を分かりやすく紹介しました。

も入会できます。問合せは電話:0225-93-2140、メール: webmaster@maki-ishi.net (メディアテック(株)内) 今後も要注目インターネット放送の皆さん、ありがとうございました。



それぞれ3分~15分程度の動画を楽しめる石巻インターネット放送のサイト(試験放送中)は地元の話と映像が満載!アドレスは <http://www.mtc-sv.jp/ishiTV/mov.html>

要チェック!!

特定非営利活動法人石巻インターネット放送
「まきいしねっと」開局記念イベント開催

「~石巻から世界へ~まきいしねっとは Dream Navigator!」

平成17年4月17日(日) 11:00~15:00

中瀬公園・石ノ森萬画館にて

まきいしねっとの番組紹介、チャリダーやバンドによるステージイベント、展示によるNPO団体の活動紹介など、盛りだくさんな内容となっております!!